



2026年6月12日

各位

会社名 株式会社 Ridge-i  
代表者 代表取締役 柳原 尚史  
(コード番号 5572 東証グロース)  
問合せ先 取締役管理部長 中井 努  
(TEL 03-4214-8558)

2026年7月期連結業績予想の修正及び関係会社株式売却益に関するお知らせ

2026年3月12日に公表した2026年7月期の連結業績予想(2025年8月1日~2026年7月31日)を下記のとおり修正するとともに、関係会社株式売却益を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026年7月期通期連結業績予想の修正  
(2025年8月1日~2026年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,800	345	345	210	48.73
今回発表予想 (B)	2,900	500	500	370	85.85
増減額 (B-A)	100	155	155	160	
増減率 (%)	3.6	44.9	44.9	76.2	
(ご参考)前年同期実績 (2025年7月期)	2,593	283	290	139	36.00

2. 修正の理由

当社の業績予想は、既に契約済みの案件については案件毎に積み上げ、協議及び交渉中の案件については営業の進捗状況やパートナー企業の計画及びコンサルティングファームが当社の前工程を実施している場合はその案件進捗状況を考慮したうえで案件毎に積み上げ、その他の新規顧客については前期の実績値に対して過去の実績に基づく増加率を考慮して見込みを行っております。

直近、AI活用コンサルティング・AI開発サービスにおいて、生成AI関連のコンサルティングや開発需要増加にともない大手の既存顧客からの継続受注や案件大型化などにより今期は新年度の4月以降も案件候補が豊富にあること及び資本業務提携を行ったSBIホールディングス株式会社からの4億円規模の大型発注の多くは今期に売上計上見込みとなったことにより売上高が増加する見込みです。また、このような案件の大型化や長期化により粗利率の向上や社員の稼働率の上昇、さらに既存顧客や提携先から

の案件が多いことによる新規営業コストの低下などの影響が継続しております。カスタム AI ソリューション事業の粗利率が想定以上に向上したため営業利益が期初計画より中間期時点で大幅に増加しておりますが、さらに 2026 年 3 月 12 日の通期業績予想の修正時点よりも営業利益率が向上しているため通期を通して営業利益及び経常利益が大幅に増加する見通しとなりました。また、当期純利益については、

3. 関係会社株式売却益の計上に記載の子会社株式譲渡により特別利益として 79 百万円の関係会社株式売却益が発生する見込みです。

以上のことから 2026 年 7 月期通期の営業利益及び経常利益は 3 月 12 日発表予想の数値から 44.9% 増、親会社株主に帰属する当期純利益は 76.2% 増と大幅な増益となる見通しとなりました。これは前年同期比でも営業利益が 76.6% 増、経常利益が 71.9% 増、親会社株主に帰属する当期純利益は 165.0% 増となります。

今後の取り組みとして、引き続き生成 AI 関連プロジェクトの獲得や人工衛星データ関連事業の拡大など魅力的なサービスの提供を加速することで、引き続き業績向上に努めてまいります。

### 3. 関係会社株式売却益の計上

当社は、2026 年 5 月 18 日開催の取締役会において、当社が保有する連結子会社である株式会社スターミュージック・エンタテインメントの全株式を SBI ホールディングス株式会社へ譲渡することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結しており、当該譲渡に伴い関係会社株式売却益 79 百万円を計上する見込みです。ただし、本株式譲渡は 2026 年 7 月 15 日開催予定の当社の株主総会において承認されることを条件としており、また株式譲渡実行日は 2026 年 7 月 16 日を予定しているため、今後の株式譲渡手続きまたは株式会社スターミュージック・エンタテインメントの損益状況によっては金額が変更となる可能性があります。

※ 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績については、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上